

## **第7章**

### **外部資金への申請と採択状況**

## はじめに

インフラ長寿命化センターは、“人”、“もの”、“場所”、“お金”もないバーチャルなセンターを有効活用し、外部資金等を獲得して、実質的な工学部センターとして機能させたいという趣旨で設立が認められた。したがって、インフラ長寿命化センターの兼務教員には、科学研究費やその他の競争的外部資金の獲得に向けて応募するようお願いしている。

以下に、本センター兼務教員の競争的外部資金の獲得状況について記載する。

### 6.1 平成 22 年度科学研究費補助金採択分（インフラ長寿命化センター兼務教員）

表 7-1

種 目	期 間	研 究 課 題 名	H22 年度交付 金額（千円）	研究代表者
基盤 C	H20-22	定量的・客観的さび外観評価による耐候性鋼橋梁のミクロ・マクロ劣化環境評価	800	森田千尋
若手 B	H22-24	増改築を行った伝統的家屋の構造性能評価のための基礎研究	1,100	安武敦子
基盤 C	H20-22	電磁波レーダの高性能化とコンクリート診断への適用	1,040	田中俊幸
基盤 B	H21-23	光学的手法によるリアルタイム非接触振動計測法の開発と非破壊検査への応用	7,410	松田 浩

### 7.2 H20～24 年度 科学技術戦略推進費（5000 万円×5 年）

#### 「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」

平成 20 年度に採択された“道守”養成ユニットの実施運営にインフラ長寿命化センターの構成員が一丸となって尽力した。実施内容等についての詳細は第 2 章に記載している。なお、平成 22 年 3 月から樋口亮氏が技能補佐員として、平成 22 年 6 月から渡部祐介氏が研究員として採用された。

### 6.3 その他の外部資金

助成機関：JAXA

課 題 名：GCOM-C1 SGLI 向け火災検知アルゴリズム、地表面温度推定アルゴリズム開発

研究代表者：森山雅雄

助成金額：3340 千円

助成機関：産業技術総合研究所  
課題名：ASTER VNIR/SWIR 大気補正に関する研究  
研究代表者：森山雅雄  
助成金額：1260 千円

助成機関：(社)九州建設弘済会  
助成名称：平成 22 年度九州建設弘済会研究等助成（研究開発）  
課題名：集中豪雨による斜面崩壊メカニズムの解明と評価手法の開発  
研究代表者：蔣 宇静  
共同研究者：杉本知史、李 博  
助成金額：2000 千円

助成機関：(社)九州建設弘済会  
助成名称：平成 22 年度九州建設弘済会研究等助成（人材育成）  
課題名：若い力で岩盤工学を切り拓こう（4 大学の院生交流を主体に）  
研究代表者：蔣 宇静  
共同研究者：杉本知史、李 博  
助成金額：450 千円

助成機関：長崎大学  
助成名称：平成 22 年度大学高度化推進経費（公募プロジェクト経費）による社会貢献・産学官連携推進プログラム支援事業  
課題名：最先端計測技術と 3D データを活用した軍艦島保存プロジェクト  
研究代表者：松田浩  
共同研究者：インフラ長寿命化センター  
助成金額：1,500 千円

助成機関：長崎大学  
助成名称：平成 22 年度工学部各種委員会等の必要経費  
課題名：インフラ長寿命化センター  
研究代表者：松田浩  
共同研究者：インフラ長寿命化センター  
助成金額：300 千円

(社)九州建設弘済会  
平成 22 年度九州建設弘済会研究助成事業（研究開発）  
光学的計測法の実橋載荷計測への適用と残存耐荷力評価  
出水享、松田浩、森田千尋、伊藤幸広、合田寛基  
助成金額：1,900 千円